

特定非営利活動法人 里山の水と緑を守る会

ギフチョウ・ヒメギフチョウの混生地として豊かな生物多様性を誇る里山を守る活動をしています。



ウスバサイシンとギフチョウ
撮影者 永幡嘉之氏



ウスバサイシンに産卵された
ギフチョウの卵塊

私たちの大石田町は、希少種と呼ばれるギフチョウ・ヒメギフチョウが混生している全国でも珍しい環境を有しています。

里山整備の活動を全国で行っている永幡嘉之氏を講師に迎え令和3年に「生物多様性と里山の役割」という学習会を行い、地域の豊かさを改めて実感しました。



活動の成果



かなり密な笹藪



2020年5月草刈り
作業中

令和2年度からギフチョウ・ヒメギフチョウの食草
ウスバサイシン・トウゴクサイシン・コシノカンアオイ
などの食草を保護するための下刈り作業を行って
きました。

令和4年度、始めて山形県みどり環境税を活用した
環境整備事業として助成金を受けることが出来ました。
メンバー一同、里山の保全・整備に取り組んで、今年の
作業は5年目になります。



2020年10月草刈り後 2021年5月草刈り前
写真提供 永幡嘉之氏



里山整備の活動を全国で行っている永幡嘉之氏の指導を受けながら毎年7月と10月に下刈り作業を行い、産卵数の増加を確認しながら励んでいます。

いつまでもギフチョウ・ヒメギフチョウ
が産卵し続ける環境を守りたい!!